

装具だより

2021年1月号



症例 1

【疾患名】右視床出血左片麻痺 【年齢】68歳
【発症日】2020年7月16日 【入院】第20病日目
【評価結果】

入院時 BrS：下肢Ⅰ、BC時：下肢Ⅱ
sensory：表在深部ともに中等度～重度鈍麻



装具選定における論点

- ・68歳と比較的若年である
- ・発症から3か月経過。BrS 下肢Ⅱ。重度感覚障害
- ・歩行は金属 AFO+幅広四点杖歩行（中等度介助）

選定における論点

① プラスチック短下肢装具（シューホーン）

メリット：軽量で下肢の振出が容易。股関節内転接地軽減。足部固定による膝折れ予防。

デメリット：足部内反に対する矯正が弱く、痙縮に対して治療が難しい。足部を固定するためロッカーファンクションが機能せず正常歩行の獲得が難しい。

② 金属支柱付き短下肢装具（ダブルクレンザック）

メリット：足部内反矯正が可能。ダブルクレンザックにより足関節の固定・フリーの調整可能
足部をインサートにすることで軽量化を図る。

デメリット：重い。振り出しが努力性の代償運動（内転筋優位）となり接地位置がバラつく。

～結論～

タマラックは3動作揃え型歩行の定着を図っており、足部ロッカー機能が機能していない本症例への選定優先順位は低い。足部を固定し歩行の安定化を図ったうえで内反矯正に優れる**金属 AFO を選定した**。足部は軽量下を図り、振り出し時の内転接地を軽減する目的で屋内外の使用が可能な**インサート型を選定した**。



今月のトピックス

あゆみ「Re-Life メッシュ 01」「Re-Life サポート 02」の紹介

徳武産業株式会社より装具着用時に適した靴として新商品が発表されたので紹介します。

Re-Life シリーズについて

- ・フラットな底面+トゥーアップ
- ・補高の調整が細かく可能（最大 13mm）
- ・患足側（7E）はベルトに手が届きやすく摩擦に強く継手が当たりにくい構造
- ・健足側（3E）にはインソールにメタとアーチがついている
- ・装具装着時でも履きやすいよう大きく開く
- ・ベルトが戻りにくく履きやすい
- ・ベロがつま先でよれにくい



～Re-Life メッシュ 01～

- ・リハビリ開始直後の慣れない歩行のサポートをメインとした素材
- ・主に病院内やリハビリ室で使用します
- ・躓きにくい適度な滑りやすさ
- ・軽量で足への負担が少ない（3E, LL サイズの場合：約 250g）



～Re-Life サポート 02～

- ・日常生活（通所リハや職場）の歩行のサポートをメインとした素材
- ・主に屋外で使用
- ・靴底はラバーグリップ使用で滑りにくい

JPF 日本義肢製作所 池田 修一郎

～装具委員から～

今回は装具用の靴について日本義肢製作所の池田 PO より紹介して頂きました。他に聞きたいことがあれば各階装具委員までご相談ください。

